

関小ヤンキーズ

昨年11月に本市で行われた「春季全日本小学生男女ソフトボール大会県予選会」で関小ヤンキーズが初優勝。3月に神奈川県で開かれる全国大会に出場する。

4年前に夏の全国大会に出場した同チームだが、春の大会はこれが初。小川昌司コーチは「勝てなかった悔しさをバネに練習してきた成果と選手の努力をたたえる。シートで主将の泉莉央さん（一関小5年）は「チームプレーを大切にしたい」と大会での活躍を誓った。



Kansyo Yankees / Junior High School All-Star Softball Team

中学校女子県選抜ソフトボール

3月に東京で行われる「都道府県対抗中学生女子ソフトボール大会」(JOC)で岩手県選抜チーム20人に市内の中学校から16人(花泉中10人、藤沢中4人、川崎中1人、桜町中1人)が選ばれた。昨年12月に結団式を行い、東北、関東への遠征などで力を付けている。

大舞台を前に、主将の佐藤小雪さん(花泉中2年)をはじめチームの気合は十分。チームを率いる千厩中の加藤郁実教諭は「チームは着実に力をつけている。《チーム岩手》として最大限の力を発揮してほしい」と期待している。



私ほでさる



Ichinoseki Daini High School

Fencing Club

フェンシング部

1月21日と22日に宮城県のリ府町で行われた「全国高等学校選抜フェンシング大会北海道・東北予選会」で、一関二高の男子団体がフルレ、サーブル、エペの3種目全てで入賞を果たした。同校の女子団体もエペで4位に入賞。アベックで3月19日から山梨県甲府市で開催される全国大会に出場する。同大会は、昨年までフルレ1種目での開催だったが、今年から3種目を実施する。

男子主将の佐藤尊君(2年)は「全ての種目で日本一を目指したい」と意気込む。自身の課題については「技術面もさることながら、体力と筋力をもっと強化していきたい」と克服に懸念だ。

女子の阿部芹奈さん(2年)も「目標は日本一」ときっぱり。「自分たちの伝統である声を出すスタイルで、明るくプレーしたい」と抱負を語った。

顧問の鈴木千晶教諭は「顧問の鈴木千晶教諭は「ひとつでも上を目指して勝ちにいききたい」と大会を見据えている。」



結成10年目に悲願の全国出場を決めた一関Vアタッカーズ。指導9年目の吉家賢一監督は「始めた当時は武者修行の連続。常に全力プレーの姿勢で臨んできた。その積み重ねが実を結んだ」と感慨深げだ。

昨年12月、奥州市で行われた「岩手県小学生バレーボール育成大会」で初優勝を飾り、3月に福井県で開かれる「全国スポーツ少年団バレーボール交流大会」に出場する同チーム。昨年度はあと一歩のところまで出場を逃しただけに、うれしさもひとしお。主将の佐々木万莉奈さん(一関小6年)は「全力プレーで勝つ」と力強く誓った。

一関Vアタッカーズ

Ichinoseki V Attackers / バレーボール

春の嵐

長く寒い冬が終わり、季節は春へ。
雪解けと共に、とびきりのニュースが飛び込んできた。
さまざまなスポーツで厳しい予選を勝ち抜き
全国出場を決めた一関の児童生徒ら。
夢の舞台に挑戦する
選手たちの意気込みを取材した。

(取材日：1月24日～2月20日)